

東証プライム 4631

DIC株式会社

2022年度第3四半期決算説明資料

2022年11月



FTSE Blossom
Japan



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

MSCI



MSCI Japan ESG
Select Leaders Index

MSCI



MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)



Color & Comfort

DIC株式会社

ハイライト

3 Q の振り返り

売上高

7,952億円

前年同期比 **+29.1%**

営業利益

329億円

前年同期比 **△1.2%**

- エネルギー、物流及び原料コストの増加に対する価格対応を進めたことに加え、円安による為替換算影響を受けた結果、大幅な増収。また、カラー & ディスプレイセグメントにおいて、前第2四半期までは連結対象外であったC&E顔料事業（旧ドイツBASF社のColors & Effects顔料事業）の売上が加わったことが増収幅を押し上げた
- 一方、直近において欧州で景気の減速感が見られたり、中国でロックダウンからの回復が遅れたりしていることに加え、第3四半期（7-9月）に入ってデジタル分野で需要が落ち込んだことにより出荷が停滞した
- 出荷数量の減少やコスト増加の製品価格への転嫁が十分に追い付かなかったことにより減益。前第3四半期連結累計期間にはC&E顔料事業の統合に伴う一時費用42億円を計上していたが、当第3四半期連結累計期間は同様の費用が無くなったため減益幅は縮小した

2022年の見通し

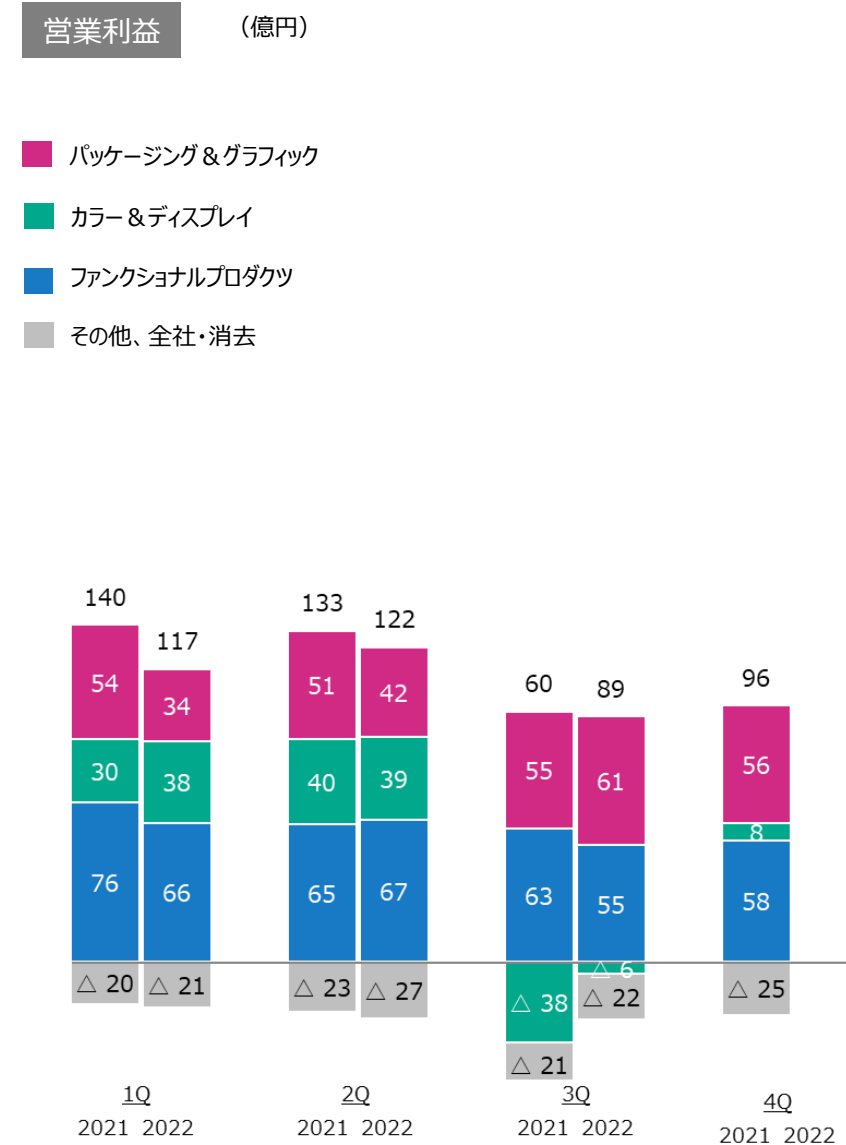
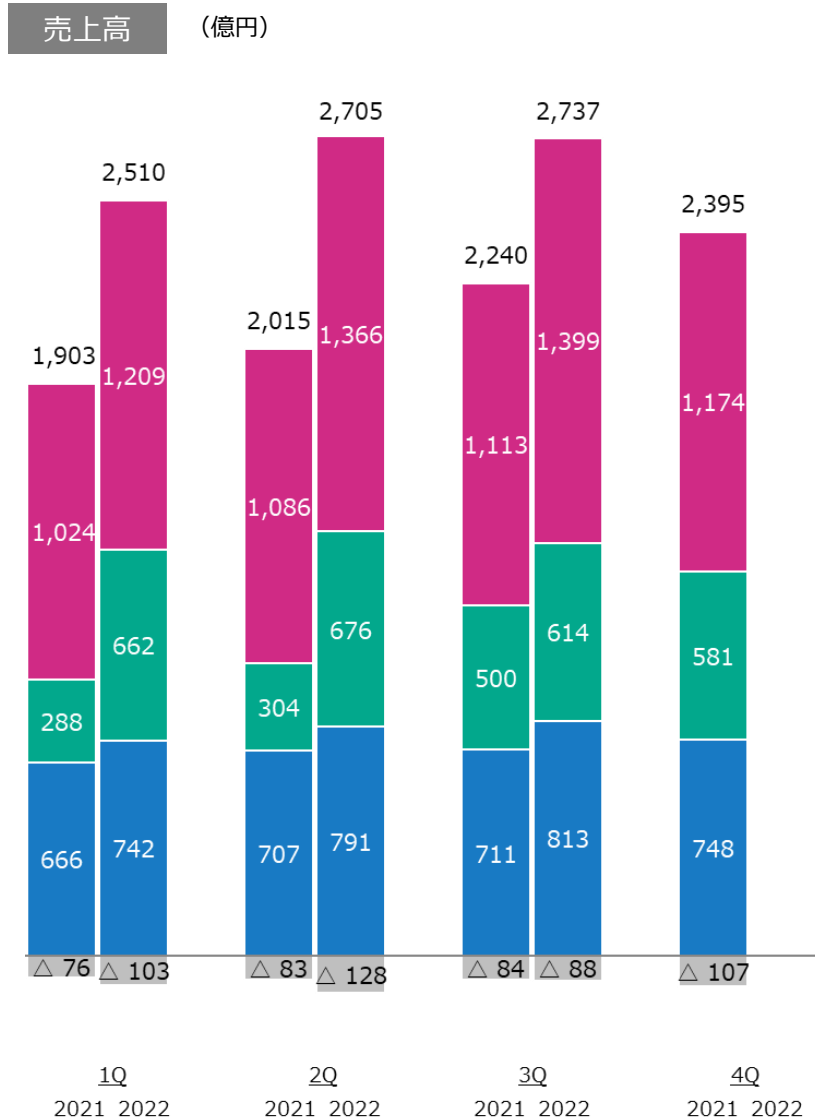
売上高を下方修正
営業利益を下方修正
配当は変更無し

- 引き続き価格対応を進めたものの年間出荷数量が想定を下回る見込みのため、売上高を1兆800億円に下方修正し、営業利益も400億円へ下方修正
- 配当は年間100円で変更無し

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2022年1月1日から9月30日までの9ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

セグメント別四半期業績推移

※各グラフの上の数値は、「その他、全社・消去」等のマイナス値を含めた連結合計の数値であるため、各グラフの高さとは一致しません



セグメント別 主要製品の四半期出荷数量の前年同期比推移

パッケージング & グラフィック (パッケージ用インキ、出版用インキ※)

1-3月

+0%

4-6月

△0%

7-9月

△4%

- Sapici (22年1月に買収したイタリアの接着剤・ポリマメーカー) による数量増加があったものの、ボリュームが多い欧州において第3四半期に入ってから出荷数量の停滞があった
- アジアでは中国において厳しい行動制限により3Qに入ってから出荷数量の回復が見られていない

※新聞インキを含む

カラー & ディスプレイ (C&Eを除く顔料)

1-3月

△5%

4-6月

△11%

7-9月

△19%

- 第2四半期から欧州において顔料の出荷が減速していたが、第3四半期に入ってから出荷数量の落ち込み幅が拡大した
- 高付加価値製品であるディスプレイ用顔料の出荷は、パネルの在庫調整により大幅な減少となり、特に業績へのマイナス影響が大きかった

ファンクショナルプロダクト (パフォーマンスマテリアル製品※)

1-3月

△6%

4-6月

△6%

7-9月

△5%

- コロナからの急回復があった21年上期と比較すると、22年上期は前年の数量を下回っていたが、デジタル関連の高付加価値製品の出荷は好調に推移していた
- 3Q (7-9月) に入り、エポキシ樹脂など一部のデジタル関連製品の出荷が急激に落ち込み、数量以上に品目構成が悪化した

※上場子会社と当期中に買収した中国子会社の数量は除外

連結損益計算書

(億円)	2021 3Q	2022 3Q	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
売上高	6,158	7,952	1,793	+ 29.1%	+ 22.0%
売上原価	△ 4,826	△ 6,391	△ 1,565		
販売費及び一般管理費	△ 1,000	△ 1,232	△ 232		
営業利益	333	329	△ 4	△ 1.2%	+ 1.6%
営業利益率	5.4%	4.1%	-		
金融収支	△ 6	△ 16	△ 10		
持分法投資損益	17	18	1		
為替差損益	5	26	21		
その他	△ 9	△ 1	9		
経常利益	339	356	17	+ 5.0%	-
特別利益	11	24	13		
特別損失	△ 100	△ 58	41		
税前利益	250	322	72		
法人税等	△ 81	△ 132	△ 52		
四半期純利益	169	189	20		
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 16	△ 11	5		
親会社株主に帰属する四半期純利益	153	178	25	+ 16.5%	-
EBITDA*1	513	681	168	+ 32.8%	-

*1 EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

特別損益の内訳	2021 3Q	2022 3Q
特別利益		
受取和解金	-	11
固定資産売却益	3	9
投資有価証券売却益	-	4
関係会社株式及び出資金売却益	8	-
特別損失		
リストラ関連退職損失	△ 4	△ 26
固定資産処分損	△ 19	△ 16
減損損失	△ 13	△ 11
事業撤退損	-	△ 6
買収関連費用*2	△ 64	-

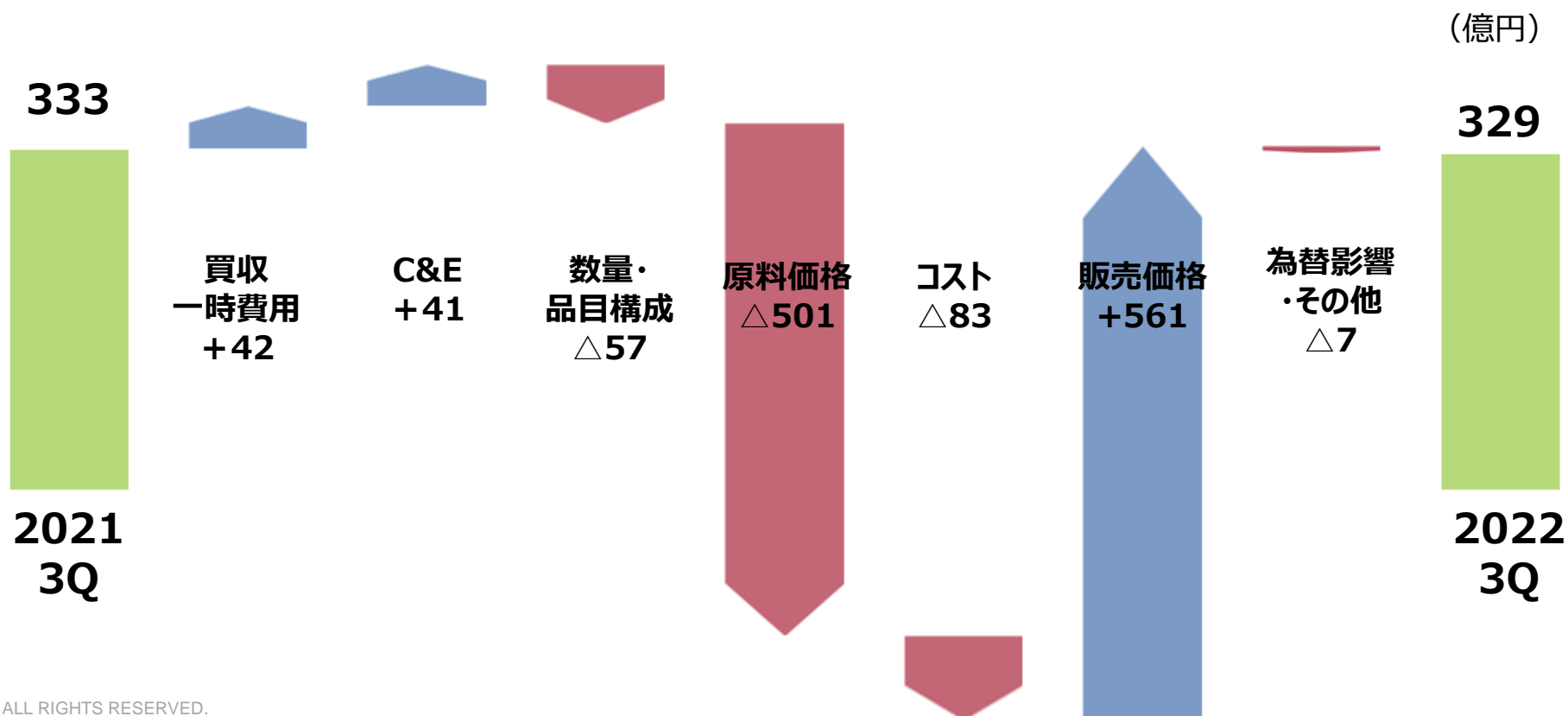
*2 C&E買収関連

■ 平均レート

	2021 3Q	2022 3Q
USD/円	108.50	127.87
EUR/円	129.68	136.26

営業利益増減要因

- 前第3四半期連結累計期間に計上したC&Eの買収一時費用が無くなったことが減益幅の縮小につながった
- C&Eは塗料用やプラスチック用が欧州における需要減少を受けて出荷数量が伸び悩み、第3四半期累計の営業利益は19億円に留まったが、前年差では+41億円の増益となった
- 欧州での景気減速や中国でのロックダウンからの回復の遅れが見られたことに加え、第3四半期（7-9月）に入ってデジタル分野で需要が落ち込んだことにより数量品目構成が急激に悪化した



財務体質

(億円)	2021 期末	2022 3Q末	増減
ネット有利子負債	3,460	4,545	1,086
自己資本	3,459	4,127	667
ネットD/ELシオ *1	1.00倍	1.10倍	
(ネットD/CLシオ *2)	(47.6%)	(50.4%)	
自己資本比率	32.3%	31.3%	
1株当たり純資産 (円)	3,654.61	4,359.65	

*1 ネットD/ELシオ： ネット有利子負債／自己資本

*2 ネットD/CLシオ： ネット有利子負債／（ネット有利子負債＋純資産）

! 会計基準変更に伴うリース債務のオンバランス化による増加 117億円

■ 期末レート

	2021 期末	2022 3Q末
USD/円	115.10	144.49

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 3Q	2022 3Q
パッケージング&グラフィック	3,224	3,973	750	+ 23.3%	+ 17.3%	161	138	△ 23	△14.1%	△4.4%	5.0%	3.5%
日本	844	955	111	+ 13.1%	+ 13.1%	37	34	△ 3	△8.5%	△8.5%	4.4%	3.6%
米州・欧州	1,948	2,512	564	+ 28.9%	+ 22.1%	101	83	△ 18	△17.9%	△0.9%	5.2%	3.3%
アジア他	532	626	95	+ 17.8%	+ 5.1%	25	22	△ 3	△13.5%	△21.1%	4.8%	3.5%
連結調整	△ 100	△ 120	△ 20	-	-	△ 3	△ 1	2	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,091	1,953	861	+ 78.9%	+ 62.7%	32	72	40	+ 127.5%	+ 121.8%	2.9%	3.7%
日本	234	272	39	+ 16.6%	+ 16.6%	51	41	△ 10	△19.0%	△19.0%	21.7%	15.1%
海外	936	1,791	855	+ 91.4%	+ 71.6%	△ 19	30	50	黒字化	黒字化	-	1.7%
連結調整	△ 78	△ 111	△ 33	-	-	0	0	0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	2,085	2,345	260	+ 12.5%	+ 7.6%	204	188	△ 16	△7.8%	△11.3%	9.8%	8.0%
日本	1,478	1,614	136	+ 9.2%	+ 9.2%	127	123	△ 4	△3.4%	△3.4%	8.6%	7.6%
海外	802	964	163	+ 20.3%	+ 7.1%	78	67	△ 11	△14.4%	△23.6%	9.7%	6.9%
連結調整	△ 194	△ 233	△ 39	-	-	△ 0	△ 1	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 242	△ 320	△ 77	-	-	△ 64	△ 70	△ 6	-	-	-	-
連結合計	6,158	7,952	1,793	+ 29.1%	+ 22.0%	333	329	△ 4	△1.2%	+ 1.6%	5.4%	4.1%
USD/円	108.50	127.87		+ 17.9%		108.50	127.87		+ 17.9%			
EUR/円	129.68	136.26		+ 5.1%		129.68	136.26		+ 5.1%			

※C&Eの業績はカラー & ディスプレイ セグメントに含まれている

パッケージング&グラフィック

売上高

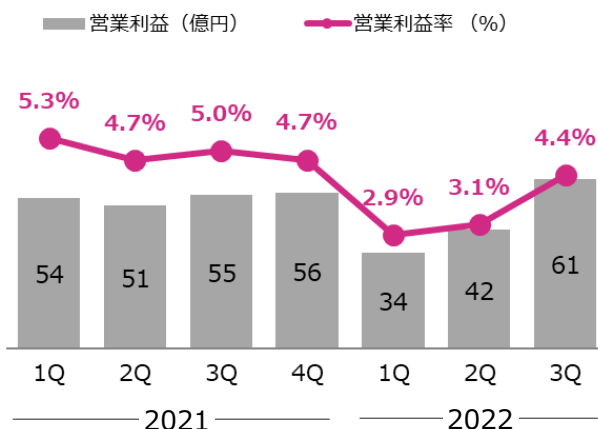
- 景気減速を背景に需要が落ち込んだ欧州や厳しい行動制限が続く中国において出荷数量の減少が見られたが、エネルギー、物流及び原料コスト増加に対する価格対応を進めた結果、増収

営業利益

- 価格対応を進めたが、転嫁が追い付かず減益。新興国通貨安による換算目減りが利益を押し下げた
- Sapici（22年1月に買収したイタリアの接着剤・ポリマーカー）は欧州での接着剤製品の拡販により利益を着実に上げた

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 3Q	2022 3Q
パッケージング&グラフィック	3,224	3,973	750	+ 23.3%	+ 17.3%	161	138	△ 23	△14.1%	△4.4%	5.0%	3.5%
日本	844	955	111	+ 13.1%	+ 13.1%	37	34	△ 3	△8.5%	△8.5%	4.4%	3.6%
米州・欧州	1,948	2,512	564	+ 28.9%	+ 22.1%	101	83	△ 18	△17.9%	△0.9%	5.2%	3.3%
アジア他	532	626	95	+ 17.8%	+ 5.1%	25	22	△ 3	△13.5%	△21.1%	4.8%	3.5%
連結調整	△ 100	△ 120	△ 20	-	-	△ 3	△ 1	2	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
パッケージ用インキ*	+ 20%	アジアでは中国のゼロコロナ政策の影響により中国で出荷数量が減少したが、各地域での価格対応により増収
出版用インキ*	+ 10%	国内の商業印刷需要の回復遅れや欧州での景気減速による出荷数量減少があったが、各地域の価格対応により増収
ジェットインキ	+ 6%	3Q（7-9月）に在庫調整があったが、累計では前年並みの出荷数量を維持している
ポリスチレン	+ 31%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少したが、価格改定による単価上昇により大幅な増収
多層フィルム	+ 15%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少したが、価格改定による単価上昇により増収

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

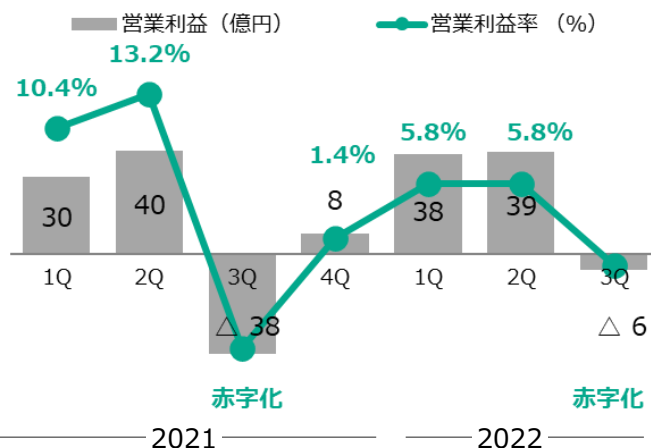
- C&E顔料事業が加わったことにより、特に塗料用、プラスチック用および化粧品用顔料が大幅な増収となった
- 欧州を中心に塗料用およびプラスチック用顔料の出荷が減速し、C&Eを除くと数量ベースでは前年を大幅に下回った

営業利益

- 2Qからの欧州での需要減少に加え、ディスプレイ用顔料およびスペシャリティ用顔料などを中心に一部の高付加価値品の出荷に停滞が見られた
- C&E顔料事業の黒字化により全体としては増益を確保したものの、欧州でのエネルギーコスト増加の影響により利益は押し下げられた

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 3Q	2022 3Q
カラー&ディスプレイ	1,091	1,953	861	+ 78.9%	+ 62.7%	32	72	40	+ 127.5%	+ 121.8%	2.9%	3.7%
日本	234	272	39	+ 16.6%	+ 16.6%	51	41	△ 10	△ 19.0%	△ 19.0%	21.7%	15.1%
海外	936	1,791	855	+ 91.4%	+ 71.6%	△ 19	30	50	黒字化	黒字化	-	1.7%
連結調整	△ 78	△ 111	△ 33	-	-	0	0	0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
顔料 塗料用	+ 127%	C&E顔料事業の売上が加わり増収だが、欧州では景気減速による需要の減退が顕著になっている
プラスチック用	+ 134%	C&E顔料事業の売上が加わり増収だが、欧州では景気減速による需要の減退が顕著になっている
インキ用	+ 29%	C&E顔料事業の売上が加わり増収だが、需要が軟化し価格競争が激しくなっている
化粧品用	+ 105%	C&E顔料事業の売上が加わり増収。コロナ前の数量の8割程度まで回復
ディスプレイ用	△ 23%	パネルの在庫調整により出荷が急減。
スペシャリティ用	+ 42%	C&E顔料事業の売上が加わり増収だが、欧州では景気減速による需要の減退が顕著になっている
ヘルスケア食品	△ 4%	欧米での需要減少により低調な出荷となった

カラー&ディスプレイ 補足資料

カラー&ディスプレイ業績内訳（億円）

	売上高				営業利益			
	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比
カラー&ディスプレイ	1,091	1,953	861	+ 78.9%	32	72	40	+ 127.5%
既存事業	891	876	△14	-	95	53	△43	-
C&E	201	1,076	875	-	△22	19	41	-
一時費用（※）	-	-	-	-	△42	-	42	-

- C&Eは塗料用やプラスチック用が欧州における需要減少を受けて出荷数量が伸び悩んだ。通期では当初計画の営業利益32億円を下回り、17億円となる見通し
- 既存事業のうち顔料事業は、ディスプレイ用顔料やスペシャリティ用顔料など一部の高付加価値製品の出荷停滞や欧州での需要減少により、大幅な減益となった
- 既存事業のうち液晶事業は、3Q（7-9月）に入って出荷が大幅に減少し、減益となった

※ 買収時に取得した棚卸資産の時価評価により発生した、売上原価の一時的な増加額

ファンクショナルプロダクツ

売上高

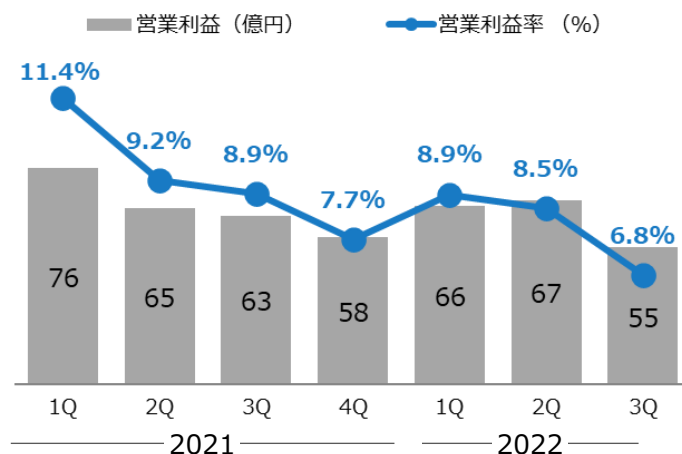
- 自動車関連は中国ロックダウンや減産影響を受けて出荷が停滞。加えてエポキシ樹脂などの一部のデジタル関連も大きく出荷が落ち込んだ
- 全体としては数量は前年を下回ったが、国内外で価格対応を進めたことで増収

営業利益

- 各製品において、エネルギー、物流及び原料コストの増加に対する価格対応を進めたものの、デジタル分野を中心にエポキシ樹脂など高付加価値製品の出荷が落ち込み、減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 3Q	2022 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 3Q	2022 3Q
ファンクショナルプロダクツ	2,085	2,345	260	+ 12.5%	+ 7.6%	204	188	△ 16	△ 7.8%	△ 11.3%	9.8%	8.0%
日本	1,478	1,614	136	+ 9.2%	+ 9.2%	127	123	△ 4	△ 3.4%	△ 3.4%	8.6%	7.6%
海外	802	964	163	+ 20.3%	+ 7.1%	78	67	△ 11	△ 14.4%	△ 23.6%	9.7%	6.9%
連結調整	△ 194	△ 233	△ 39	-	-	△ 0	△ 1	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比
エポキシ樹脂	+ 9%
ウレタン樹脂	+ 6%
アクリル樹脂 *	+ 32%
水性樹脂 *	+ 31%
ポリエステル樹脂 *	+ 20%
UV硬化型樹脂	+ 9%

製品名	増減比
PPSコンパウンド	+ 3%
工業用テープ	+ 17%
中空糸膜モジュール	+ 21%

デジタル関連は、工業用テープ、中空糸膜モジュールは好調に推移したものの、エポキシ樹脂は大きく出荷が落ち込んだ。PPSコンパウンドは自動車減産影響を受けたが、住設機器向けなど自動車以外の用途の出荷を伸ばし増収を維持した。

2022年度：通期の業績見通し

- エネルギー、物流及び原料コスト増加への価格対応に取り組んでいるが、出荷数量が想定よりも落ち込むことから売上高を下方修正
- 売上高の減少に加え、欧州でのエネルギーコストの増加による影響などから営業利益見通しを下方修正
- 年間配当は変更なし

(億円)	2021	2022 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比	前回見通し	2021	2022 見通し	
売上高	8,554	10,800	+ 26.3%	+ 17.9%	11,000	ROIC*2	4.8%	3.6%
営業利益	429	400	△6.7%	△0.3%	500	ネットD/ELレシオ *3 (ネットD/CLレシオ *4)	1.00倍 (47.6%)	1.07倍 (49.7%)
営業利益率	5.0%	3.7%	-	-	4.5%	年間配当/株 (円)	100.0	100.0
経常利益	438	435	△0.6%		510	配当性向	216.8%	47.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	44	200	+ 358.2%		260			
1株当たり純利益 (円)	46.12	211.30	-		274.68			
EBITDA*1	690	840	+ 21.7%		900			
設備投資・投融資	1,682	820	△51.2%		820			
減価償却費・のれん償却額	381	470	+ 23.5%		470			
平均レート	USD/円	109.75	+ 20.3%		129.00			
	EUR/円	129.73	+ 9.5%		142.00			

*1 EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

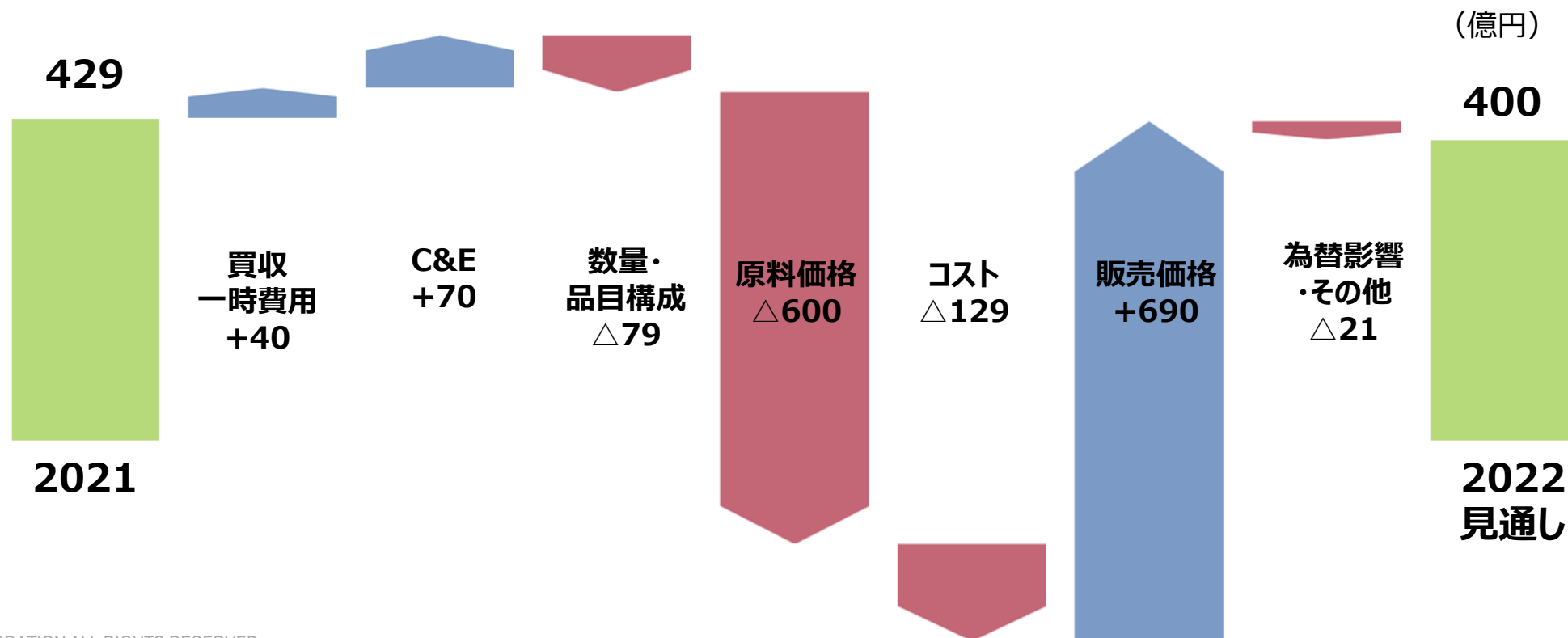
*2 ROIC：営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)

*3 ネットD/ELレシオ：ネット有利子負債 / 自己資本

*4 ネットD/CLレシオ：ネット有利子負債 / (ネット有利子負債 + 純資産)

2022年度：営業利益増減要因

- C&Eの売上高1,416億円、営業利益17億円（シナジー含む）を見込む
- 11月14日発表時点の前提となる原油価格（WTI）は\$ 80近辺を想定。原料価格の本格的な値下がりへの反映は来期となる見込み。欧州におけるエネルギー及び物流費の上昇によりコストは大幅に増加、引き続き価格改定に取り組む
- 欧州での景気減速や中国のロックダウンからの回復遅れ、電気・電子やディスプレイを中心としたデジタル分野での需要の落ち込みにより、売上見通しを前回発表（2022年8月10日）から下方修正し、営業利益見通しを500億円から400億円に下方修正した



2022年度：通期のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021	2022 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021	2022 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021	2022 見通し
パッケージング&グラフィック	4,398	5,452	1,054	+ 24.0%	+ 17.7%	216	187	△ 30	△13.7%	+ 1.1%	4.9%	3.4%
日本	1,147	1,292	146	+ 12.7%	+ 12.7%	48	51	2	+ 4.5%	+ 4.5%	4.2%	3.9%
米州・欧州	2,651	3,463	812	+ 30.6%	+ 23.3%	132	105	△ 27	△20.5%	+ 5.8%	5.0%	3.0%
アジア他	731	860	129	+ 17.6%	+ 4.5%	38	31	△ 7	△17.4%	△24.7%	5.2%	3.6%
連結調整	△ 130	△ 163	△ 32	-	-	△ 2	△ 1	2	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,672	2,554	882	+ 52.7%	+ 34.2%	40	74	35	+ 87.5%	+ 101.0%	2.4%	2.9%
日本	326	339	13	+ 3.9%	+ 3.9%	69	56	△ 13	△19.2%	△19.2%	21.1%	16.4%
海外	1,457	2,360	903	+ 62.0%	+ 40.5%	△ 28	18	46	黒字化	黒字化	-	0.8%
連結調整	△ 112	△ 146	△ 34	-	-	△ 2	0	2	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	2,833	3,214	381	+ 13.5%	+ 7.3%	262	244	△ 18	△7.0%	△11.3%	9.2%	7.6%
日本	2,013	2,152	139	+ 6.9%	+ 6.9%	161	159	△ 2	△1.3%	△1.3%	8.0%	7.4%
海外	1,083	1,356	273	+ 25.2%	+ 8.6%	101	85	△ 16	△15.6%	△26.9%	9.3%	6.3%
連結調整	△ 263	△ 293	△ 30	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 349	△ 420	△ 71	-	-	△ 89	△ 104	△ 15	-	-	-	-
連結合計	8,554	10,800	2,246	+ 26.3%	+ 17.9%	429	400	△ 29	△6.7%	△0.3%	5.0%	3.7%
USD/円	109.75	132.00		+ 20.3%		109.75	132.00		+ 20.3%			
EUR/円	129.73	142.00		+ 9.5%		129.73	142.00		+ 9.5%			

※C&Eの業績はカラー & ディスプレイ セグメントに含まれている

主なトピックス (2022年7月～9月)

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2022/>

7月

中国のコーティング用樹脂メーカー「Guangdong TOD New Materials Co., Ltd.」を買収

- ローカルメーカーの買収により、コーティング用樹脂の世界最大の需要地である中国において事業拡大を図る
- 該社は水性樹脂等の環境規制に対応した生産能力があり、これらの製品をDICの販売網を活かしグローバルにも展開

7月

米国のバイオベンチャー企業BYAS社へ出資

7月

環境移送技術のイノカ、化学メーカーのDIC、人工生態系を用いた藻類由来天然素材フィコシアニンの有用性研究を開始

7月

DICとSAP、ブロックチェーンを使用した廃プラスチックのトレーサビリティシステム構築の実証実験を開始

7月

米国デビュー・バイオテクノロジー社と赤色天然由来色素の新合成法に関する共同研究開発の第二フェーズを開始

主なトピックス (2022年7月～9月)

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2022/>

7月

企業情報を紹介する統合報告書『DICレポート2022』を発行

経営戦略などの財務情報と非財務情報を記載した『DICレポート』を統合報告書として発行しています
 サステナブルな取り組みの詳細なデータを掲載したPDF版がウェブサイトからダウンロードできますのでご利用ください

HOME > サステナビリティ > DICレポート（統合報告書） 
<https://www.dic-global.com/ja/csr/annual/>



8月

DICとエフピコ、プラスチック製食品トレーの完全循環型リサイクルに向け世界初の溶解分離リサイクル技術を用いた協業を開始

8月

DICとDATAFLUCT、プラスチック包装容器の完全循環型リサイクルの実現を目指し、生活者の行動変容の実証実験に向け協業開始

9月

米国および中国子会社の屋外藻類培養工場への環境投資を増強

9月

経済産業省および金融庁をオブザーバーとする「人的資本経営コンソーシアム」に入会

事業セグメントと主要製品

2021年度実績数値

提供価値

パッケージング&グラフィック



売上高
4,398億円



営業利益・率
216億円
4.9%

包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー&ディスプレイ



売上高
1,672億円



営業利益・率
40億円
2.4%

表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクツ



売上高
2,833億円

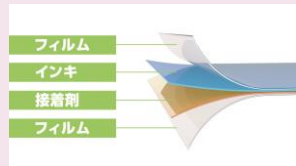


営業利益・率
262億円
9.2%

機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品

パッケージ用インキ



包装材料

←ポリスチレン
↓多層フィルム

接着剤



ジェットインキ



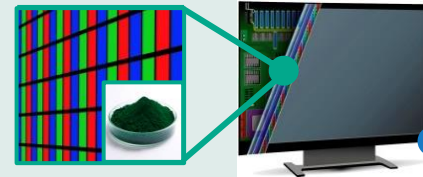
屋外看板用途



バナー用途



ディスプレイ用顔料



化粧品用顔料



スペシャリティ用顔料



農業用途



建材用途

天然系色素



塗料用顔料

プラスチック用顔料

インキ用顔料



◆電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野◆



UV硬化型樹脂

工業用テープ



エポキシ樹脂



中空糸膜モジュール



◆モビリティ（自動車など）を中心とする工業分野◆

水性樹脂
アクリル樹脂

ウレタン樹脂
ポリエステル樹脂

PPSコンパウンド



連結貸借対照表 (参考)

(億円)	2021 期末	2022 3Q末	増 減
流動資産	5,421	7,031	1,610
有形固定資産	3,077	3,607	530
無形固定資産	523	800	277
投資その他の資産	1,694	1,756	62
資産合計	10,715	13,194	2,479
流動負債	3,056	3,798	742
固定負債	3,849	4,918	1,069
負債合計	6,905	8,716	1,812
株主資本	4,039	4,120	81
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 580 (△ 555)	7 (78)	586 (632)
非支配株主持分	351	351	0
純資産合計	3,810	4,477	667
負債純資産合計	10,715	13,194	2,479
有利子負債残高	3,842	5,248	1,406
現預金残高	383	703	320
ネット有利子負債	3,460	4,545	1,086

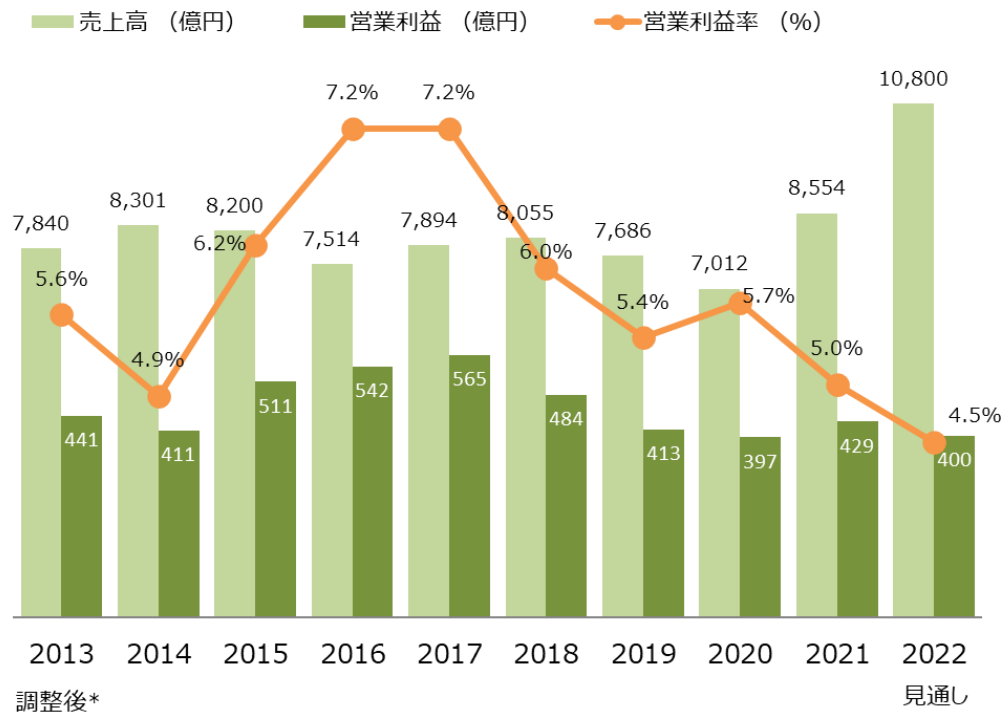
連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

（億円）	2021 3Q	2022 3Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	483	△ 191	△ 674
投資キャッシュ・フロー	△ 1,395	△ 599	796
財務キャッシュ・フロー	2,070	891	△ 1,179
現金及び現金同等物の期末残高	1,613	678	△ 935
フリーキャッシュ・フロー	△ 912	△ 790	122
運転資本の増減額	△ 27	△ 655	△ 629
設備投資・投融資	1,553	658	△ 896
減価償却費・のれん償却額	273	354	81

注) 連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため参考情報です。

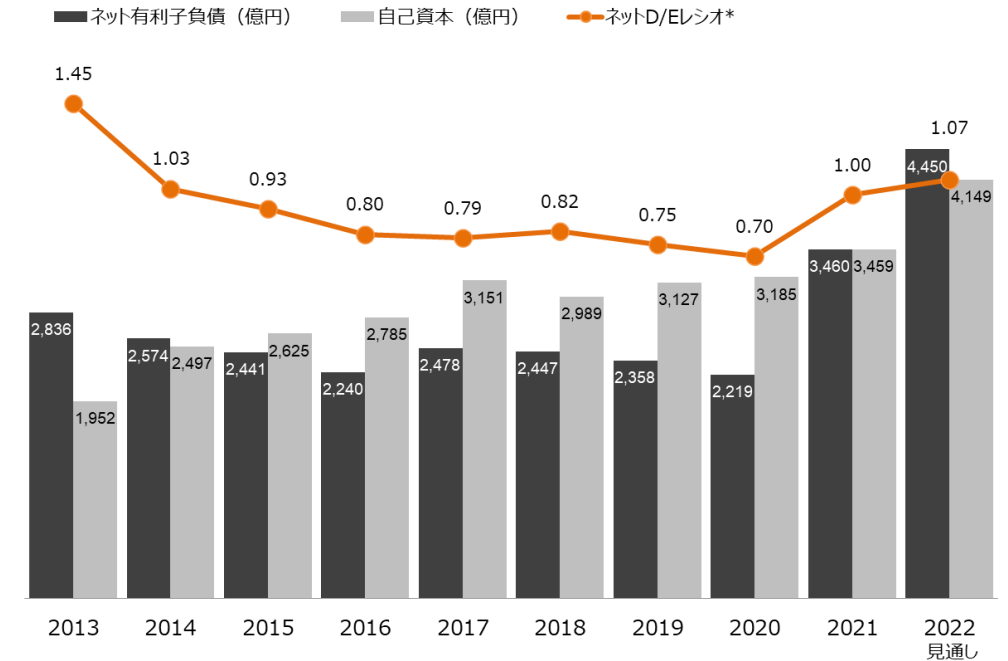
業績の推移 (参考)

業績



*決算期変更の影響を調整しています

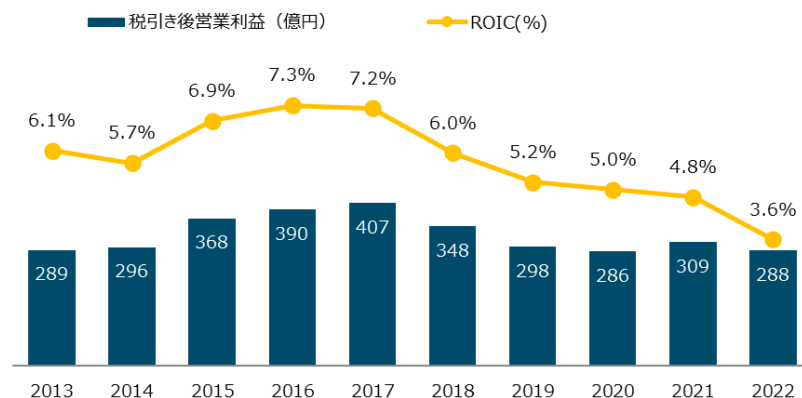
財務体質



* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

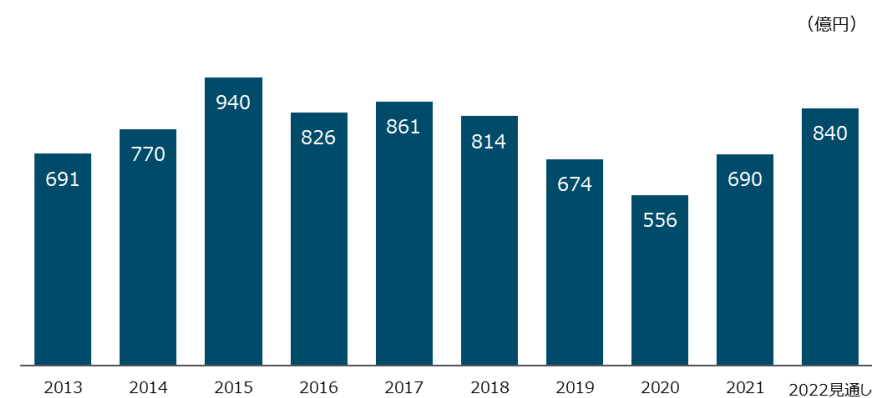
業績の推移 (参考)

ROIC*



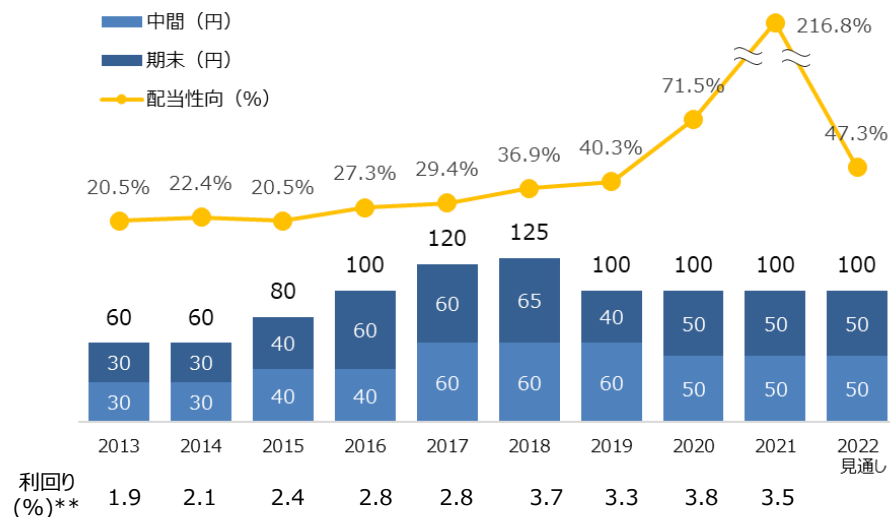
*ROIC : 営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産) 見通し

EBITDA*



*EBITDA : 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

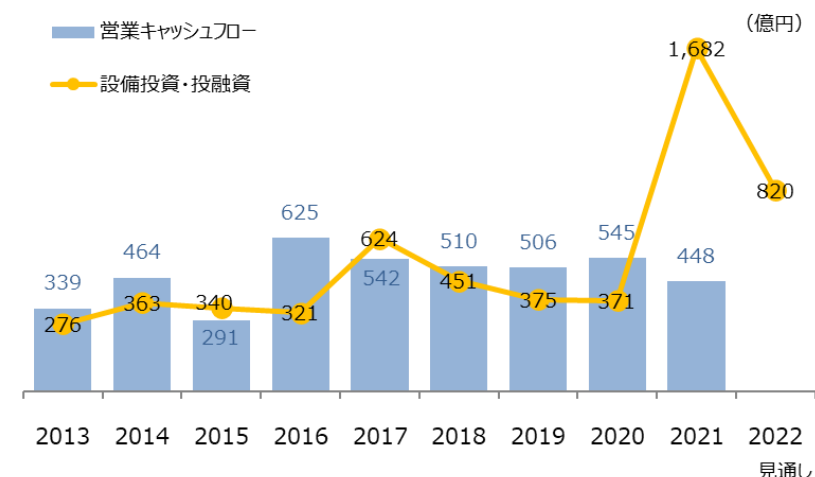
株主還元*



* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り : 年間配当金/期末の株価終値

設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation